

おいで祭り（平国祭）の PR 映像・啓蒙映像の制作

一気多大社 活性化プロジェクト

学生団体名 気多大社盛り上げ隊（金沢学院大学）

参加学生 漆畑圭人・重富あおい・村田悠太郎・西本進吾・中西勇輝・田宮千聖・干場雄司・川島瑞樹

1. 地域活動の概要

「おいで祭り（平国祭）」は、能登路に春を告げる祭りとして古くから地元で親しまれてきた。神馬を先頭にして、神職・みこしなどの一行が、気多大社から七尾市まで 300km を巡行する。記録上では大永年間からの歴史を持つ。この由緒ある祭りが現在衰退しており、過去 40 名を超える参加者と地域での十分な支援体制が得られた時期もあったが、現在は参列者 20 名程度と、厳しい状況の中で運営している。そこで、PR 映像や様々な情報通信技術を用いて PR をする。



2. 地域活動の具体的な内容

- (1) 8 月に気多大社の宮司様より神社の歴史やおいで祭り（平国祭）についてレクチャーを受け、祭礼の歴史や運営の現状等についてレクチャーを受けた。

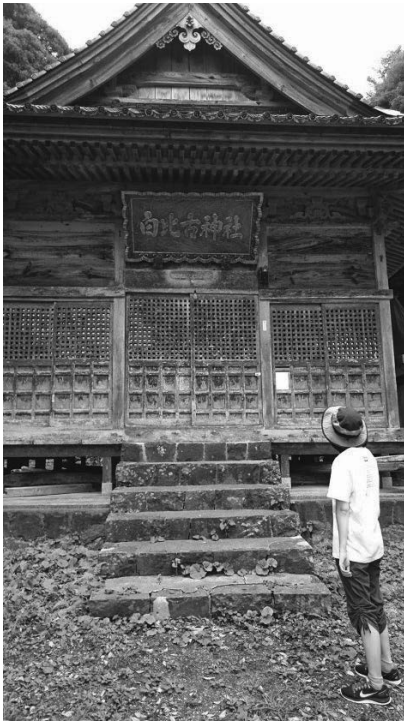


参加学生（気多大社にて）



気多大社 松尾宮司様のレクチャー

- (2) 続いて、「おいで祭り」一行が辿る能登生国玉比古神社（気多本宮）までの経路取材しながら辿り、本祭礼に関する理解を深めた。以下は、一行立ち寄る神社、寺等の写真である。



白比古神社



慈照寺



能登生国玉比古神社（気多本宮）本殿



能登生国玉比古神社（気多本宮）山門

取材を通して感じたことは、広大な能登の地を、数十人の一行が、人家のないような道を進む部分もあり、この行事の運営を支え維持していく事は大変な労力であろうと感じられた。

- (3) 合宿により、活性化のためのディスカッションを実施した。特に、KJ法を取り入れ、学生目線の意見抽出を行った。意見抽出では、映像にPRに限らず、本質的に「おいで祭り」が若い世代からどのように見えるのか、あるいは、どうしたら興味・関心を高めることができるのかなど多角的に意見交換を行った。大学に戻り、継続議論とした。



3. 地域活動の成果

12月9日に、学生の意見を整理し、以下のような項目で気多大社の松尾宮司に説明した。

松尾宮司様より、実際のおいで祭りは3月に実施されるので、その取材要請を頂いた。

今年度は我々学生チームに映像や写真素材のネタがないため、3月の映像取材を依頼し、気多大社および関係者所有の写真素材等をもとに、PR用フォトムービーを作成しFacebook等で情報発信することとした。アドレスは以下のとおり。



学生の意見を松尾宮司様にご報告

2016. 12. 9

<https://www.facebook.com/気多大社盛り上げ隊-291125704589546/?ref=bookmarks>

- (1) 現代は華やかになり過ぎているため、おいで祭りの行列をもっと神々しく映るよう演出すべき。雅楽をCDでなく本当の楽器で演奏する。
- (2) 現代の若者に「巫女」のキャラクターの人気の高い。この辺りをもっと活用すべき。
- (3) 巫女によるPR大使を展開。百万石行列のミス百万石のように。
- (4) 巫女コンテストを実施する。
- (5) 行列に巫女を増員。学生アルバイトであれば安価な日当でも協力可能では。
- (6) Facebook、Twitterをもっと活用すべき。
- (7) 「気」饅頭や団子などを配る。こどもなどは寄って来るのでは。
- (8) 大国主命など神社にまつわる話を人々に認識させる。こんな経緯があつて、この地域は守られている。出雲大社が基となっている話などもあったらどうか。アニメを作るのもいい。
- (9) アプリを使い参拝させる。課金制度で神社の会計に入る。「気」守りなどが郵送される。
- (10) 縁結びの神社と全国的に有名であることを、もっとPRしては。「気」が多く集まる神社をPR。

なお、3月の実際の祭りの様子を、引き続き記録し来年度のPR映像として活用したいと考えている。

4. 来年度の地域活動計画

今年度は、まず、「気多大社」を知る、「おいで祭り」を知るという観点から、地域に関わった。しかし、実際の祭りは、3月であり、タイミングとしては本報告の後である。そこで、3月の活動を踏まえ、次年度へと繋げていきたい。

5. 学生の感想

本活動に取り組んで、気多大社に、このような伝統行事があることを初めて知った。

また、時代の流れとともに継続が難しくなりつつある祭礼行事が我が国に多数あることに気付いた。その理由は、人口減少や、祭礼行事と雰囲気と時代感覚のズレのようなものが影響していると考えられる。しかし、祭礼行事の本質的な意味を見直し、ITで情報発信技術し、支える人々の熱意と知恵で乗り越えられる課題ではないかと感じた。

6. 地域活動に対する地域からの評価

今回は、若い学生の意見を聞くことができて大変参考になった。是非継続してほしい。実際のおいで祭りは2017年3月18日～2017年3月23日に実施される。この機会に、準備の様子や祭りの様子の撮影をお願いしたい。行程約300キロの取材を是非実施して魅力を発信してほしい。若い方々のアイデアに期待したい。